

2025/4/24

「東京圏向け“さが暮らしセミナー”企画運營業務委託」仕様書等に対する
質問書への回答

1. セミナー会場に関しまして、仕様書には「セミナールームの使用条件等により企画したセミナーが十分に実施できない場合は、受託者が確保した別の会場を利用することも可能」と記載がございますが、「ふるさと回帰支援センター」を使用したセミナーの実施回数のご指定や「ふるさと回帰支援センター」を使用したセミナーの集客目標等がございますでしょうか。
(例 最低1回はふるさと回帰支援センターの利用が必須、集客人数のX名は「ふるさと回帰支援センター」を使用したセミナーからの集客など)

【回答】

「ふるさと回帰支援センター」を使用したセミナーの実施回数について、指定はありません。また、セミナーの集客目標を100人以上としています。このうち「ふるさと回帰支援センター」を使用したセミナーに限定した集客目標は定めていません。

2. 【開催回数・日程の確定プロセス】

「1回以上」「実施効果の高い日程を設定」とありますが、県側が想定する“効果の高い”曜日・時間帯の指針はありますか？また同一年度内で複数回実施する場合、間隔の目安（例：四半期ごと等）はありますか？
合わせて昨年度の受託者は2回実施しているようですが、それぞれ公募にて提案したものか、1回の公募でイベントを2回実施したのかご教示いただきたいです。

【回答】

セミナーのテーマやターゲット等によって効果の高い曜日・時間帯は異なるため、県としての指針は設けていません。各提案者において、効果的な開催回数及び日程を設定してご提案ください。また、同一年度内で複数回実施する場合の間隔の目安についても、各提案者において、効果的な間隔をご検討いただきたいと思います。
セミナーの回数については、受託者からの提案により、1度の公募にて2回実施しました。

3. 【新規相談 10% 目標の追跡方法】

相談発生をどうカウントしますか（窓口来訪・電話・メールすべて？）

セミナー申込データと相談窓口データの突合は県が実施？それとも受託者側でしょうか？

【回答】

さが移住サポートデスクへの新規相談者数については、窓口来訪・オンラインでの相談件数、電話・メールでの相談件数、フェアやイベントでの相談件数を集計します。
セミナー申込データと相談窓口データの突合は県が実施します。

4. 【ターゲット像の深掘り】

「都市部での暮らしよりも地方志向がある層」とありますが、年齢・家族構成・職業など具体的なペルソナ例を共有いただけますか？

【回答】

今回の仕様で定めている「企画内容による集客効果も意識し、これまで本県又は移住に対しても関心がなかった人でもセミナーに参加してみたいと思えるような企画内容とすること」というのは、これまでの県の施策ではリーチできなかった層、動かすことができなかった層に対する企画とすることを期待しています。

したがって、県からペルソナ像を提示するのではなく、各提案者において佐賀県に移住したいと思っていただけるような方はどのような方が想定されるのか、その層に向けて何をどのように発信するのが効果的なのか、といった点についてご検討いただきたいと考えています。

5. 【昨年度以前の実施内容について】

昨年の受託者の実施リリースを拝見し、2回セミナーを実施していましたが予算規模は今回と同等の金額でしょうか？

【回答】

令和6年度に実施した事業では、今回と同等の予算規模で複数回のセミナーや交流会を実施しました。

ご質問で示された受託者による令和5年度事業については、今回の公募とは仕様書の内容やセミナーの規模感が異なるため、予算規模も異なります。